

# 岡山理科大学2013年度入試のまとめ

2013年度入試を振り返ってさまざまな角度から検証すると、岡山理科大学の入試の特色と、出願の傾向が見えてきました。

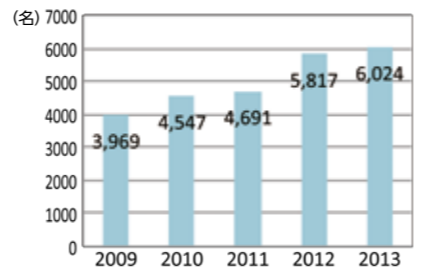
## 2013年度全入試結果(学部別)

学部	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	実質倍率
理学部	520	2,876	2,814	1,632	5.5	1.7
工学部	500	1,977	1,935	1,440	4.0	1.3
総合情報学部	160	463	454	363	2.9	1.3
生物地球学部	100	708	697	260	7.1	2.7
合計	1,280	6,024	5,900	3,695	4.7	1.6

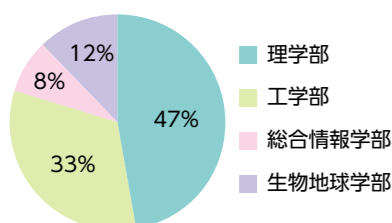
注目!!

2013年度岡山理科大学入試全体の志願者は募集定員1,280名に対し6,024名でした。前年度と比べると207名の増加で、4年連続の増加となりました。

## 志願倍率4.7倍。4年連続増加をたどる志願者



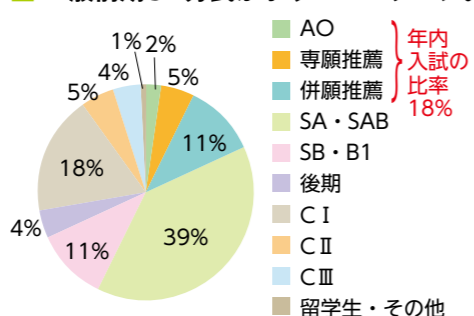
## 約半数が理学部。学部別志願者割合



注目!!

学部ごとで志願者の割合をみると理学部が約半数を占めています。これを志願倍率に換算すると生物地球学部が7倍超、次いで理学部5.5倍と、2012年度スタートの生物地球学部と全国でも私立大学では12大学しかない理学部の人気の高さが際立っています。

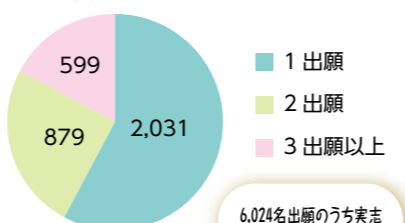
## 一般前期SA方式がボリュームゾーン。



注目!!

入試区分で比較してみると、年内に行われる入試(AO~加計学園推薦入試(入試特待生制度))の出願率は18%にとどまり、一般入試が圧倒的なボリュームゾーンであることが見てとれます。複数出願制度や入試特待生制度などの特典も受験生にとって、魅力的な要素がもたれません。

## 約42%の受験生が複数出願。学内併願制度や複数出願割引の特典も魅力。



注目!!

6,024名出願のうち実志願者数は3,509名。複数出願の割合は42%。一人平均1.7出願しています。SA方式とSAB方式やCI、SB方式とB1方式やCIIなどの同じシートでの出願では複数出願割引の制度が適用されます。(詳しくは入試要項でご確認ください。) 本学は同分野においても多岐にわたる学科の選択肢があります。第2志望や複数出願で合格を狙いやすいのも事実。しっかり大学案内やHPを見て、併願・複数出願を含め、希望の出願先を決めてください。

## 1つの出願で2選考、第2志望制度も。

岡山理科大学では、加計学園推薦入試・SA方式・SAB方式・SB方式・B1方式・一般後期には第2志望制度を設けています。この制度は第1志望学科が不合格となった場合、第2志望の記入があれば、その学科で再度合格の判定を行う制度です。

※第2志望学科の判定を受けるには、第2志望学科が指定している科目試験を受験していることが条件となります。出願後の学科追加・変更はできません。

## 入試区分別志願倍率・実質倍率(全学部)

入試区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
AO入試	60	94	-	94	1.0
特別推薦入試	220	248	247	241	1.0
専門学科・総合学科特別推薦入試 I 期・II 期	60	29	29	29	1.0
推薦入試	225	485	479	391	1.2
加計学園推薦入試(入試特待生制度)	-	182	176	118	1.5
一般入試前期 SA 方式・SAB 方式	451	2,344	2,313	1,542	1.5
センター試験利用入試 C I	63	1,111	-	584	1.9
一般入試前期 SB 方式・B1 方式	78	672	628	330	1.9
センター試験利用入試 C II	63	319	-	155	2.1
一般入試後期	30	232	197	80	2.5
センター試験利用入試 C III	30	268	-	97	2.8

注目!!

入試区分別で昨年度の実質倍率を見ると、推薦系入試→SA・SAB方式→SB・B1方式→後期の順に高くなっていきます。また、センター試験利用入試は、その手軽さからも倍率は高くなる傾向にあります。募集人数や実質倍率なども参考にしながら、出願の計画をしてください。岡山理科大学では、入試シーズンに出願状況や入試結果を速報としてホームページに随時アップします。是非、出願の際に参考にしてください。

※2013年度入試結果の詳細は、「2014年度大学案内」「2014年度入学試験要項」でご確認ください。

入学試験についてのお問い合わせ、大学案内・願書の請求はこちらから。

## 岡山理科大学 入試広報部

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

TEL (086) 256-8412

http://www.ous.ac.jp e-mail kouhou@ous.ac.jp

受験生ホットライン

0800-888-1124 (平日9:00~17:00)



資料請求(テレメール)

募集要項完成スケジュール... AO/専門学科・総合学科特別推薦入試 I 期募集要項(6月完成) 入学試験要項(8月完成)

# 岡山理科大学

2014年度入試の概観

および

2013年度入試のまとめ



SCIENCE DREAM GARDEN  
岡山理科大学  
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

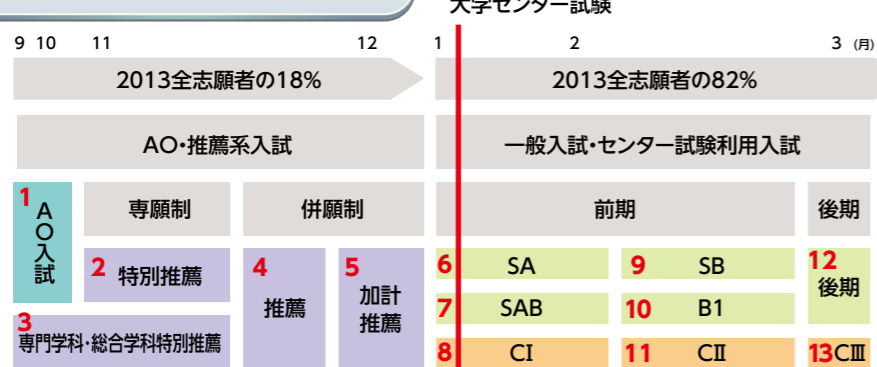
# 岡山理科大学2014年度入学試験の概観

本冊子では岡山理科大学の各入試の特徴や2013年度入試のまとめなどを説明します。  
今後の入試の対策として是非お役立てください。

## AOから一般入試後期までバラエティーに富んだ入試群

岡山理科大学にはAO入試に始まり、一般後期・CⅢ入試まで、実に13種類\*もの入試が用意されています。  
\*社会人入試・留学生入試・編入学試験などを除く

### 入試年間スケジュール概観



大きく分けて年内に行われる「AO・推薦系入試」と年明けから行われる「一般入試・センター試験利用入試」に分類されます。中でも、年内に行われるAO・推薦系入試では、専願制のものと同様に併願制のものに分類され、選考方法も異なります。

**advice!** ※専願制とは本学を第一志望として志願し、合格した場合は**本学に必ず入学することが条件となる入試**です。



## 最大4年間の学費を免除! (入学金を除く) 200名採用の入試特待生制度。

「加計学園推薦入試(入試特待生制度)」をはじめ、一般入試「SA方式」「SAB方式」「SB方式」には入試特待生制度が採用されています。特待生はI、II、IIIに種類が分かれ、それぞれ学納金が4年間、2年間、1年間免除されます。

**advice!**

SA方式が3科目、SAB・SB方式が高得点2科目、加計学園推薦入試(入試特待生制度)が1科目となります。科目数が減ることにより、合格得点率の上昇も予想されます。バランスよく高得点を狙える、1科目飛びぬけて高得点が狙えるなど、**ご自身の成績に応じて出願を考えてください。**

**advice!**

200名という規模、**最大4年間の学費を免除**という点から注目されています。メインのSA方式では、3科目の記述式で1点を競う入試ということから**国公立大学の併願策**としても利用されています。



### 2013年度入試特待生採用実績と合格点数

一般入試前期 SA方式・SAB方式 入試特待生合格者数・合格点

種類	特典(入学金は除く)	人数	合格者数	SA1 日目	SA2 日目	SAB
特待生 I	入学後4年間の全学費免除	30	30	275	262	187
特待生 II	入学後2年間の全学費免除	80	82	261	250	177
特待生 III	入学後1年間の全学費免除	60	76	254 (300点満点)	246 (300点満点)	169 (200点満点)

このほか、加計学園推薦入試(入試特待生制度)で特待生Ⅲが10名、一般入試SB方式で特待生Ⅱ・Ⅲそれぞれ10名ずつ、合計218名が特待生合格しています(2013年度実績)。

## その1点が合否の分かれ目! 一般入試。

年明けからは一般入試が始まり、入試シーズンが本格化します。時期を同じくして「大学入試センター試験」が行われます。一般入試には本学独自の科目試験を課すものと、この「大学入試センター試験」の点数を利用できるものに分かれます。

**advice!**

推薦・加計学園推薦(入試特待生制度)、SA方式・SAB方式・CI、SB方式・B1方式・CII、後期・CⅢではそれぞれ**同時出願が可能**です。入試試験は1点が合否の分かれ目ともなり、一発勝負ということもあり、志願者数やコンディションなどに左右されやすいのも否めません。例年、こうした不安に対応するため、多くの受験生が**複数入試において併願**されています。

一般入試SA~B1方式ではそれぞれ3科目型、高得点2科目型、1科目型に分類されます。また、SA・SAB・SB方式には前述の入試特待生制度が採用されるのも特徴です。

**advice!**

センター試験利用入試は**既にある持ち点での勝負**となるため、多くの情報収集と分析力が必要となるかもしれません。

## 全国各地で受験可能。全国最多26の入試会場。

推薦入試・一般入試では、最多で26(一般入試前期SA方式2日目)もの地方会場を設けています。

**advice!**

受験には、入学検定料だけでなく交通費や場合によっては宿泊費など、少なからず**経済的な負担**がかかってきます。岡山理科大学では、少しでも**受験にかかる負担を軽減**できるよう、遠隔地でも受験しやすいように**最多26会場の地方会場**を設けています。また、AO入試では**在籍高校での面接も可能**となっています(在籍高校の許可要)。

## 選択科目に制限なし! 一般入試後期

一般入試後期が本学最後の入学試験となります。選考方法も2科目200点満点で、学部学科を問わず、英語、数学、理科(物理・化学・生物)、国語から2科目を自由に選択することが可能です。

**advice!**

たとえば、理系学科志望の場合でも**選択科目の指定はない**ので、文系科目のみの選択も可能となります。

## 進学に対する目標・熱意をしっかりPR

AO入試は、本学が示すアドミッションポリシー(各学科において求める人物像や受け入れの方針など)を基に、能力・適性や意欲、目的意識等を多面的に評価する面接、書類審査(提出課題など)で選考する入試です。全入試の中で最も早く行われます。人物像が重要視されるのも特徴です。

**advice!**

AO入試は9月1日からエントリー開始となっているため、逆算すると非常に早い時期から志望分野・志望校を確定させる受験対策が必要となります。また、あなたが大学に求める学びや求める人物像に合致しているかが重要な要素です。アドミッションポリシーとともに**オープンキャンパスなどの機会を積極的に活用**するのがよいでしょう。

**advice!**

※**高等学校での努力や進学に対する熱意・目標**などをしっかり伝えたい方にはお薦めの入試です。  
※「指定校推薦」といわれる入試は特別推薦入試の中に含まれます。  
募集の有無は、高等学校により異なりますので、高等学校の先生にご確認ください。



また、AO入試と同様に「特別推薦入試」、専門学科・総合学科の卒業見込み者を対象とした「専門学科・総合学科特別推薦入試(I・II期)」も専願制入試で、選考には面接が課されます。

## 高校の頑張りを点数化!

**advice!**

基礎的な学力試験に加え、調査書の評価平均値×10点(50点満点)を配点として加算し、選考します。たとえば、推薦入試では調査書の評価平均値が50点、基礎的な学力試験が2科目100点の合計150点満点の配点となり、**高校の頑張りが選考に大きく反映**されます。また、加計学園推薦入試(入試特待生制度)では学力試験が1科目選択(200点満点)なので、**高校の頑張りに得意科目**をいかして入試特待生(後述参照)にチャレンジできる魅力があります。

併願制である「推薦入試」「加計学園推薦入試(入試特待生制度)」では、高等学校の頑張りを点数化し、選考に加えています。